

# 平成22年度 育友会役員紹介

一年間どうぞよろしくお願ひ致します



会長  
本多美浦鶴



副会長  
板垣 利英



副会長  
木本 隆平



副会長  
進路支援委員長兼務  
山浦 孝弘



総務委員長  
寺元 栄一



地区委員長  
宮崎 哲彦



文化広報委員長  
原田 扶美



保健体育委員長  
小嶋 秀則



健全育成委員長  
野上 典子



第1学年委員長  
小林 克哉



第2学年委員長  
松下 賢次



第3学年委員長  
砂月 昭廣



書記  
川端 浩二



書記  
金子 弥生



監査委員  
吉岡 優子



監査委員  
松元 正治

私が学んだ大学の青年心理学の1時間目の講義です。「自分が赴任した頃(戦後まもなく)、ほとんどの学生が教師を目指し学問に励む中、いつも遊びに興じる学生がいた。学内でも話題になっており、ほとんどの先生方から『彼は駄目だ。退学だ!』と愛想をつかされていた。そんな中、同じ心理学の先輩教授が、その学生に対して注意はせずに、『〇〇君、うちの研究室に来て、〇〇の研究を手伝って下さい。』と声をかけられた。そんなこと言っても応じるはずがないと思っていながら、次の日からその学生が研究室に顔を出すようになった。その教授だけが背中を押してやっただけですね。」と話をされたのを覚えています。

担当の先生は大学を退官された後、非常勤で週一回のこの講義を持っておられました。この大学一筋45年近くの老先生で、大学とその土地を大変愛された方でした。この講義のためだけに、毎週、故郷の広島からおいでになっておられました。先生ご自身の先輩の教授から研究者としての理論の実践、また指導者としてのポイントを学ばれたのでしょう。それを何十年間も教師を志す学生に伝えてこられたのでしよう。

## 支 援

進路指導主事 石田 智雄

目標を持ちながらも、達成までの道のりが長く、今現在の具体的な取組ができずにいる若者がいます。不断の努力が大切と分かっていながらも、平凡な日常よりも刺激を求める、そこに個性の表現を見いだそうとする時代。いわゆる凡事徹底が理想ですが大人ですら難しい。ストイックさを求めることは簡単ですが、それはいろいろなことを経験して得られるもの。経験のないところにストイックさだけを求めれば義務感とやら意欲が低下します。また、視野の狭い人間になってしまふ恐れがあります。高校生は発展途上の存在です。今はできなくても、試行錯誤を繰り返してやれるようになればよいのです。

周囲の我々がやらなければならぬことは支援です。凡事徹底をなすために、時間の管理の仕方やルーチンワークに変化をつける工夫、その日その日の行事ごとの小目標の設定などの具体的な取組の示唆が大切だと考えます。また、子どもたちの取組に対する理解と共感が次への意欲をもたらします。

今年度、育友会に進路支援委員会が発足しました。育友会前会長の渡邊様からご提案があり、その位置づけと業務内容を新役員の方々と協議して参りました。これまでも課外の実施など様々な支援を頂いており、今年度の重点として、以下の3点に取り組みことになりました。①保護者進路学習会の実施(理解・共感) ②進路講演会の人材バンクの構築(支援) ③受験生合格祈願行事(支援)

特に、①では先日1学年で実施しました『進学マネープラン』や『大学入試制度』、2学年での『受験期における健康・栄養指導』などの進路に関する学習会を、保護者のニーズを受けて実施します。②は、学校の進路指導方針に沿って、社会経験豊富な保護者の方々の幅広い視点から、生徒たちに聞かせたい話という観点で、講演者の選定に加わって頂きます。③は合格祈願に併つきとぜんざい会を企画して頂いています。いずれも子どもたちの日々の活動にアクセントとヒントを加えるものになると期待しています。委員会の活動内容は原案ですので、保護者の皆様からアドバイスを頂きながら、生徒のためになる活動にしたいと考えておりますので、ご協力とご理解をお願いいたします。

### 総会報告

## 川上清司先生の講演会を聞いて



1年生保護者  
小場さち子

4月25日に、育友会の総会がありました。

朝早くから夕方迄ということで、少しブルーな気持ちで出掛けましたが、終わってみるとあつという間で、特に午後の講演は「もつと聞きたかった。」と思った程でした。

先生の長い教職経験から、様々な事例を挙げながら語られる中で、親として人として母として、どうあるべきかを教わりました。「やさしさは人との出会いの中で身につけていくもの」「頭がいいとは、あかるさ・たくましさ・まじめさのこと」「褒める・叱るでは距離がある。喜び・悲しみなさい。あなたと私と共にいることを伝えなさい。」等々心の中では、「もつと早くききたかったあ!」と叫んでいる自分がいきました。特に響いたのは、「会社に必要なのは」ということでした。

- ①出勤の時間が早い
  - ②声が大い
  - ③行動が素早い
  - ④表情が豊か
  - ⑤名前を呼んだら立ち上がった人だそうす。
- 自分の姿を反省しつつ、戴いた資料を心の糧に頑張ろうと気合いが入った一日でした。



## 育友会のホームページリニューアルしました!

ぜひ一度のぞいてみてください!

天草高校育友会



### 委員会報告

## あいさつ運動



健全育成委員長  
野上 典子

①期末考査にあたり、生徒達の気持ちを引き締めるとともに、さわやかな挨拶を二日を始めるため。

②登校時の交通マナーの遵守を促すため。

という目的で6月23日〜28日の4日間、健全育成委員会でありさつ運動を実施しました。今年度は後、2回、考査前に予定をしておりま



ます。先生方と育友会役員さつ運動を実施しました。今年度は後、2回、考査前に予定をしておりま

の協力で、学校正門や周辺、バイクや自転車通学の生徒たちの見守りのために、校外へも出向きました。朝の30分間と短時間でしたが、生徒一人ひとりが自然に挨拶をしてくれる姿に、私たち保護者も清々しい一日の始まりとなりました。日頃から家庭でも声かけをお願いいたします。健全育成委員長という大役の中で、少しでも「子ども達のため」の活動ができるよう努力したいと思います。今後も育友会と健全育成委員会の活動に御理解と御協力をお願いいたします。

### 委員会報告

## 新聞コンクール「育鵬」佳作を受賞



文化広報委員長  
原田 扶美

前年度会長、渡邊さんのお奨めで熊日高校PTA新聞コンクールに応募し、「佳作」を受賞しました。皆様、御協力有難うございました。

今年度より各学年より2名の委員さんを選出して頂き、担当の石山先生と8名の組織が出来上がり更にパ



ワーアップできそうです。本年も、木本副会長のもと、宮崎委員さんとホームページの運営もしています。足を運ばずとも学校の様子が伝わるような、そして身近で親しめる育友会であることを願っています。

育鵬 No.71 の編集会議のようす